



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 株式会社トスネット

上場取引所

東

コード番号 4754

URL <https://www.tosnet.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 氏家 仁

問合せ先責任者(役職名) 代表取締役専務兼管理統轄本部長

(氏名) 佐藤 雅彦

TEL 022-299-5761

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日~2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	8,428	△4.9	382	△30.6	524	△16.7	160	△58.5
2025年9月期第3四半期	8,864	4.7	551	8.9	629	8.9	386	23.1

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 129百万円(△66.8%) 2025年9月期第3四半期 389百万円(15.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	34.54	—
2025年9月期第3四半期	82.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	10,935	8,454	77.3
2025年9月期	11,273	8,476	75.2

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 8,454百万円 2025年9月期 8,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	37.00	37.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日~2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	11,333	△4.8	510	△40.7	715	△25.8	536	△29.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社ビルキャスト

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期3Q	4,732,600株	2025年9月期	4,732,600株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	81,325株	2025年9月期	96,503株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年9月期3Q	4,646,207株	2025年9月期3Q	4,670,455株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年10月1日から2026年6月30日まで）における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復の動きがみられました。一方で、中東情勢の不安定化や金融資本市場の変動等が景気に及ぼす影響には、引き続き留意が必要な状況にあります。また、個人消費には持ち直しの動きがみられたものの、消費者マインドは弱含んでおり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当警備業界におきましては、警備業者数及び警備員数がともに緩やかな増加傾向にあり、人々の安全・安心に対する社会的ニーズを背景として、警備サービスに対する需要は引き続き底堅く推移しております。

一方で、全警備員に占める60歳以上の割合が約半数に達するなど、警備員の高齢化が進んでおり、将来にわたる人材の確保及び育成が業界全体の重要な課題となっております。

しかしながら、警備事業は、長年培った経験や責任感を生かすことのできるシニア層の「第二の職場」として広く定着しており、多様な人材の就業機会を創出する重要な役割を担っております。

今後も、防犯意識の高まりや施設、イベント、社会インフラにおける警備需要の拡大が見込まれることから、人材不足や業務効率化といった課題に対応することで、警備業界には引き続き安定した需要と成長の余地があるものと考えております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は8,428百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業利益は382百万円（前年同四半期比30.6%減）、経常利益は524百万円（前年同四半期比16.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は160百万円（前年同四半期比58.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（警備事業）

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は7,457百万円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント損失は253百万円（前年同四半期は95百万円の損失）となりました。警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

① 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、ゼネコン、建設工事業会社等へ積極的な営業展開を行っていましたが、当部門の売上高は4,785百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

② 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置付け、首都圏を中心に積極的な営業展開をした結果、当部門の売上高は2,339百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。

③ 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、有資格者の増強を図ることにより、他警備事業の効率性も高めることができる当社グループの注力商品の一つと位置付けております。当部門の売上高は212百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

（ビルメンテナンス事業）

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務及び労働者派遣業務等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高79百万円（前連結会計年度比46.8%減）、セグメント損失は1百万円（前連結会計年度は6百万円の損失）となりました。

なお、当該事業を営んでいた連結子会社である株式会社ビルキャストは、2026年3月31日付で解散し、同年6月30日付で清算終了しております。

（電源供給事業）

電源供給事業は、各種イベント及びコンサート関連の仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。コンサートの規模等拡大により、電源供給事業の売上高は890百万円（前年同四半期比6.8%増）、セグメント利益は246百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ337百万円減少し、10,935百万円となりました。この主な要因は、有価証券が769百万円増加したものの、現金及び預金が1,575百万円、警備未収入金が116百万円減少したこと等によるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ316百万円減少し、2,480百万円となりました。この主な要因は、その他（固定負債）が279百万円増加したものの、短期借入金が350百万円、未払法人税等が160百万円減少したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ21百万円減少し、8,454百万円となりました。この主な要因は、株主に対する配当金171百万円の支払いがあったこと等によるものです。この結果、自己資本比率は77.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想につきましては、2026年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,104,081	4,528,342
受取手形及び売掛金	278,001	426,339
電子記録債権	660	—
警備未収入金	1,174,237	1,058,178
有価証券	—	769,970
原材料及び貯蔵品	75,884	88,210
その他	199,739	325,897
貸倒引当金	△580	△1,620
流動資産合計	7,832,023	7,195,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	419,239	408,786
土地	1,511,355	1,739,082
その他（純額）	338,269	537,315
有形固定資産合計	2,268,864	2,685,184
無形固定資産		
のれん	211,659	177,682
その他	49,857	42,921
無形固定資産合計	261,517	220,604
投資その他の資産		
投資有価証券	324,570	368,011
投資建物（純額）	1,919	5,783
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,744	2,169
繰延税金資産	178,747	236,425
その他	331,989	152,173
貸倒引当金	△2,250	△2,266
投資その他の資産合計	910,806	834,382
固定資産合計	3,441,188	3,740,171
資産合計	11,273,212	10,935,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	350,000	—
1年内返済予定の長期借入金	137,764	101,464
未払法人税等	213,333	52,823
未払消費税等	212,650	124,262
未払費用	684,708	718,956
賞与引当金	136,467	225,936
リース債務	49,180	45,117
その他	285,369	176,200
流動負債合計	2,069,473	1,444,761
固定負債		
長期借入金	313,315	246,292
退職給付に係る負債	339,268	435,211
その他	74,679	354,459
固定負債合計	727,263	1,035,962
負債合計	2,796,737	2,480,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	782,930	782,930
資本剰余金	766,550	766,550
利益剰余金	6,946,056	6,935,009
自己株式	△130,649	△110,108
株主資本合計	8,364,887	8,374,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,118	115,238
退職給付に係る調整累計額	24,468	△34,853
その他の包括利益累計額合計	111,587	80,384
純資産合計	8,476,474	8,454,765
負債純資産合計	11,273,212	10,935,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	8,864,160	8,428,533
売上原価	5,980,344	5,774,999
売上総利益	2,883,816	2,653,533
販売費及び一般管理費	2,332,382	2,270,596
営業利益	551,434	382,937
営業外収益		
助成金収入	28,477	33,299
受取賃貸料	24,408	34,065
投資有価証券運用益	2,664	2,202
その他	29,149	81,275
営業外収益合計	84,700	150,843
営業外費用		
支払利息	4,619	3,489
リース解約損	—	2,761
その他	1,529	2,633
営業外費用合計	6,148	8,884
経常利益	629,986	524,896
特別利益		
投資有価証券売却益	27,501	—
固定資産売却益	2,485	—
受取保険金	20,618	98,403
特別利益合計	50,605	98,403
特別損失		
固定資産除却損	353	4,418
特別功労金	—	300,000
特別損失合計	353	304,418
税金等調整前四半期純利益	680,238	318,880
法人税等	293,627	158,392
四半期純利益	386,610	160,488
親会社株主に帰属する四半期純利益	386,610	160,488

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	386,610	160,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,089	28,119
退職給付に係る調整額	△2,028	△59,322
その他の包括利益合計	3,060	△31,202
四半期包括利益	389,671	129,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	389,671	129,285

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当社の連結子会社であった株式会社ビルキャストは、2026年3月31日付で解散し、2026年6月30日付で清算終了したことに伴い、当第3四半期連結会計期間末をもって連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	7,525,571	149,847	354,152	834,589	8,864,160
外部顧客への売上高	7,525,571	149,847	354,152	834,589	8,864,160
セグメント間の内部売上高又は振替高	86,022	10,314	449	5,046	101,832
計	7,611,594	160,161	354,602	839,635	8,965,993
セグメント利益又は損失(△)	△95,594	△6,607	7,335	258,648	163,781

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	163,781
セグメント間取引消去	387,652
四半期連結損益計算書の営業利益	551,434

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	電源供給事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	7,457,791	79,791	890,950	8,428,533
外部顧客への売上高	7,457,791	79,791	890,950	8,428,533
セグメント間の内部売上高又は振替高	77,579	5,881	687	84,148
計	7,535,370	85,673	891,637	8,512,681
セグメント利益又は損失(△)	△253,454	△1,969	246,249	△9,174

(注) ビルメンテナンス事業を営んでいた連結子会社である株式会社ビルキャストは、2026年3月31日付で解散し、同年6月30日付で清算終了しております。なお、当第3四半期連結累計期間における同事業の業績は、上表の「ビルメンテナンス事業」に含めております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	△9,174
セグメント間取引消去	392,111
四半期連結損益計算書の営業利益	382,937

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、「メーリングサービス事業」を前連結会計年度まで報告セグメントに記載しておりましたが、2025年7月1日に当社の連結子会社であった株式会社メーリングジャパンの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結会計期間から「メーリングサービス事業」を報告セグメントから除外しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	131,809千円	123,578千円
のれんの償却額	33,976千円	33,976千円